

■発行所 〒793-0054 西条市中野甲922-1
TEL 55-0350
■ホームページ www.akehi.jp
■メールアドレス akehi@akehi.jp

第380回

令和4年9月

定例県議会

中村知事3期目の最終議会が閉会しました。

社会の構造変動に対応する県政運用に重点を!!

予算案1件・条例案2件・その他案件10件・報告12件・人事案などが審議可決されました。(詳しくはHPをご覧ください。)

愛媛県 令和4年度 9月補正予算 一般会計 104億1,991万円 の主な事業

- 1 新型コロナウイルス感染症への対応 22億7,949万円
- 2 肥料・飼料価格、電気料金等の高騰対策 10億3,275万円
- 3 防災・減災対策の推進 43億1,355万円
- 4 当面する課題への対応 27億9,412万円

① 海岸漂着物重点対策事業費 7,700万円

立入困難海岸に大量に漂着する海洋ごみの回収を加速化するとともに、海洋ごみの処理における課題に対応するため、燃料化などを通じた有効活用に向け調査・検討を実施



③ ふるさと納税普及啓発費 2,767万円

全国のふるさと納税額(3年度)が過去最高を更新するなど関心が高まる中、本県の認知度や寄附者の拡大を図るため、「愛媛百貨店」や「えひめ食の大使館」と連携できる新たなふるさと納税ポータルサイトを導入



② 家畜防疫初動体制強化事業費 1,026万円

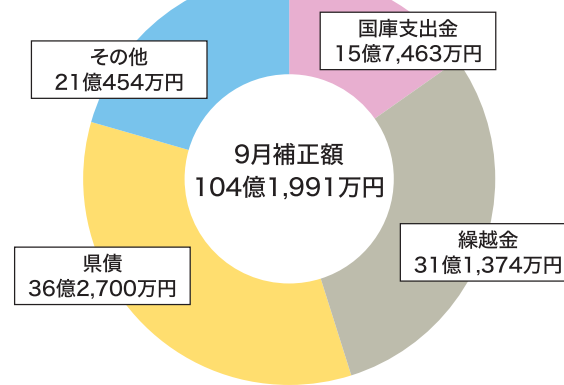
昨年度に本県で初めて発生した高病原性鳥インフルエンザの次期流行期に備え、初動防疫に必要な備蓄用資機材等を整備



④ 財政基盤強化積立金 23億5,750万円

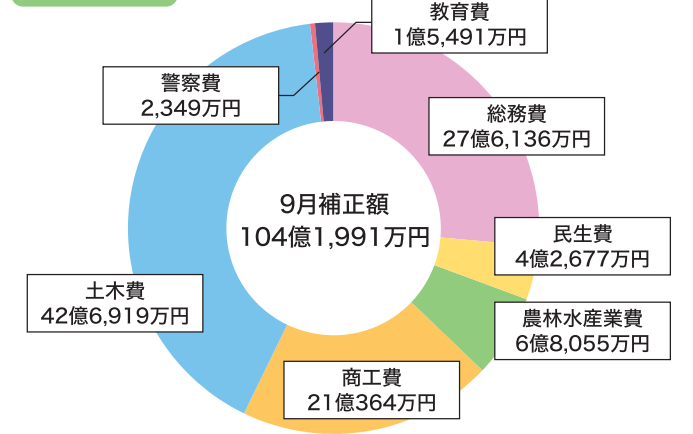
地方財政法に基づき、3年度の決算剰余金の1/2相当額を積立て

歳入内訳



- 国庫支出金** 新型コロナ地方創生臨時交付金、土木費国庫負担金など
- 繰越金** 決算剰余金
- 県債** 緊急防災・減災対策事業への充当予定額
- その他** 中小企業振興資金貸付金、土木費負担金など

歳出内訳



- 総務費** ベトナム定期航空路線誘致促進事業費(3,473万円) 財政基盤強化積立金など
- 民生費** 介護事業所等サービス提供体制確保事業費(6,000万円)など
- 農林水産業費** 畜産配合飼料価格高騰対策支援事業費(4億2,540万円) 肥料価格高騰対策支援事業費など(1億5,990万円)
- 商工費** 中小企業振興資金貸付金【拡充】(20億円) 緊急経済対策伴走支援枠金融支援事業費(6,750万円)など
- 土木費** 肱川水系緊急治水対策推進事業費(6億7,579万円) 県単独緊急防災・減災対策事業(35億9,340万円)
- 警察費** 警察施設等適正管理物価高騰対策費(2,349万円)
- 教育費** 県立学校施設等適正管理物価高騰対策費(1億3,369万円) 私立学校電気料金高騰対策緊急支援事業費(1,794万円)など

STOP! コロナ差別 愛顔を守ろう!

私たちの敵は「人」ではなく「ウイルス」です。



信じ合い 頼りになる 行動力



天高く実りの秋、皆様には如何お過ごしでしょうか？

もう2年に余り新型コロナ感染対策により、社会経済活動が色々と制約され、人々の大切な心の交流機会が抑制され、孤立化の傾向が憂慮されています。自分の存在は、家族や地域・社会の行事ごとへの参加と連帯感の中で培われるものです。自覚と責任をもって、積極的に諸機会に参加し、心の健全も保ちましょう。

近頃の我が国の社会状況は、コロナ対応の問題の他にも「不道徳・不可解」な事案がマスコミでも連日報じられ、人心が混乱状況にあると思うのは私一人では無いと思います。

愛媛県議会議員

明比 昭治

【自由民主党 愛媛県支部連合会 議員会長】

『愛媛県知事選挙』 来る11月3日告示、20日投開票の日程です。

「中村時広」知事は、4期目を目指し、これまでの経験の上に立ち、更なる「実需」の創出で、安心と潤いのある生活空間の創造を追い求め、愛媛県の課題の解決に取り組み決意が表明されています。私たち(自民党愛媛県連)としても、一体駆動の活動をこれからも取り組む次第です。皆様のご理解とご協力、ご支援をお願いします。

「県立学校振興計画の指針」が出され、今年度中に策定を目指す!

生徒数の減少・情報化やグローバル化社会が進む中、人材育成の拠点であり、地域活性化の核としての県立高校の役割を押し量り、より良い教育環境を実現するため、2年前から地域の声を聞きながら取り組んできた、計画案がこのほど(8月)に県教育委員会から、県立学校55校を44校に統廃合する案が示され、県下各地で説明会が開催されています。

生徒数の減少は、多様な科目の開設や部活動の実施が困難となり、より地区外の規模の大きな学校への進学希望が増加するなどの諸課題を考慮し、最低3学級以上の学校規模とすることを原則方針としています。

西条地区では現行5校が、小松高校・丹原高校・東予高校の3校が、【仮称ですが】

- ① 周桑高校⇨普通科で文理探求・教員養成・社会共創などのコースと理数情報科を設ける⇨【校地は小松高校とする】
- ② 西条産業科学高校⇨農業科・工業科・家庭科・商業科など産業人材の育成を目指す⇨

《校地は東予高校で農業実習は丹原高校を利用する》の2校に統廃合される案が出されています。

丹原高校が無くなる。小松高校の校名が無くなる。現行を維持した場合は西条高校の規模が半減する。などなど諸課題があり、県下各地でも異論や意見が表明され、署名活動も起こっています。県議会でも地域の皆様の意見の反映を取り上げ、議論を深めてまいります。



皆様の声を地域の安心・安全・発展につなげます!

ご意見などお気軽にお聞かせ下さい! 西条の明日を創るためにも全力で頑張ります。